

(科目コード : 1100820072Y3)

【改訂】第26版(2014-03-13)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】3組 2年

【担当教員】前期:太田 たまき
後期:太田 たまき

【授業目標】

基本的な漢字の読み書きに習熟し、正しい読解や文章表現に運用することができる。
文章を客観的に理解することができる。
出題者の意図を理解し、論理的なレポートの作成ができる。
論理的かつ説得力のあるスピーチができる。

【教育方針・授業概要】

- ・読解 ... 「ありのままの世界は見えない」
「ネットが崩す公私の境」
「『もの』の科学から『こと』の科学へ」
- ・表現 ... 種類別文章の書き分け(作文・レポート・小論文・論文の違い)
文章表現の基本(問題設定・構成・引用の方法・参考文献の付け方)
文章の相互批評(全体相互批評・各自相互批評)

【教科書・教材・参考書等】

教科書:国語総合 現代文編:三省堂:9784385726960
参考書:新訂 総合国語便覧:第一学習社:9784804033013
参考書:常用漢字フォルダ:浜島書店

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚機器を使用する場合がある。

【メッセージ】

1年次に使用した教科書を引き続き使用します。読解に加え、文章表現の基礎についても講義・実践します。

【成績評価方法】

[前期]中間試験:40%,期末試験:40%,レポート:10%,漢字テスト:10%
[後期]中間試験:40%,期末試験:40%,漢字テスト:10%,課題・提出物:10%

【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【授業計画】(国語表現)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	授業概要	国語表現の学習目的と意義を説明する。 1年次との違い、授業に臨むにあたって準備すべきことを指示する。		
第2回~第4回	読解(1) ありのままの世界は見えない	読解教科書より「ありのままの世界は見えない」を講読する。「見る」という行為の中にある、視覚以外の要素について考える。		漢字テスト
第5回~第7回	表現(1) 「論文」とは何か 文章表現の基本	作文・レポート・小論文・論文の違いを確認する。また、第8章を参考に、客観的文章作成の基本、わかりやすい文章を書くために必要な留意点について確認する。		漢字テスト
第8回	中間試験			
第9回~第13回	読解(2) ネットが崩す公私の境	読解教科書より「ネットが崩す公私の境」を講読する。現代の生活に不可欠な存在となった「ネット」がもたらす功罪について考える。		漢字テスト
第14回~第15回	表現(2) 剽窃問題 引用・参考文献の付け方	文章を書く際の倫理問題を考える。特に剽窃は大きな問題であり、回避するために必要な「引用」「参考文献」の在り方と方法について学習する。	夏期休業期間レポート	漢字テスト
第16回~第19回	読解(3) 「もの」の科学から「こと」の科学へ	読解教科書より「『もの』の科学から『こと』の科学へ」を講読する。本文における「もの」「こと」の定義と、引用事例から筆者の主張を読み取る。		漢字テスト
第20回~第22回	表現(3) 全体添削 全体相互批評	夏期休業課題レポートから数名の回答を取り上げ、全員で添削をするとともに、評価作業を行う。自分以外の学生の着眼点の多様性や文章の論理性・正確性などを見ていく。		漢字テスト
第23回	中間試験			
第24回~第25回	「論」の構成	問題の設定方法や構成方法、パラグラフをトピックセンテンスの関係などについて学び、より論理的な文章の作成方法を学ぶ。	提出準備レポート	漢字テスト
第26回~第28回	「文」の書き方	客観的文章の在り方、そのために必要な「文」の表現方法について考える。適宜、プリントを使って学習する。		漢字テスト
第29回	提出準備レポートの相互確認	提出準備レポートについて、文章ルールから内容・構成に至るまで、学生同士で確認をする。「推敲」の重要性を体感する。		漢字テスト
第30回	提出レポートの清書	相互確認と推敲を経て、レポートの清書を行う。		漢字テスト